



# Cisco Unified CME 機能のロードマップ

このロードマップは、この『Cisco Unified Communications Manager Express System アドミニストレータ ガイド』に記載されている機能の一覧と、各機能の説明があるモジュールを示したものです。

## 機能とリリース サポート

表 1 に、特定の機能のサポートが導入された Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) のバージョンを示します。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。この表では、Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンで導入または変更された機能だけを示します。ご使用の Cisco Unified CME ソフトウェアバージョンによっては、機能の中に一部サポートされていないものがあります。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm) にある『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、および Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 9.0</b>			
9.0	『Cisco ATA-187』	Cisco ATA-187 で T.38 ファクス リレーおよびファクス パススルーがサポートされました。	<a href="#">Cisco ATA-187</a>
	Cisco Unified SIP IP Phone	次の電話タイプの SIP サポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco Unified 6901 および 6911 IP Phone</li><li>• Cisco Unified 6921、6941、6945、および 6961 IP Phone</li><li>• Cisco Unified 8941 および 8945 IP Phone</li></ul>	<a href="#">Cisco Unified CME の電話機</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーションの機能拡張	SIP IP Phone のローカリゼーションサポートが、次のように拡張されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unified 6941 および 6945 SIP IP Phone のローカリゼーションサポート。</li> <li>すべての Cisco Unified SIP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケール インストーラ。</li> </ul>	Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーションサポート
	Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート	Cisco Unified SCCP IP エクステンション モビリティ (EM) Phone をモニタする新しい MIB オブジェクトが追加されました。	Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート
	混在共有回線	Cisco Unified SIP および SCCP IP Phone が共通のディレクトリ番号を共有できます。	混在共有回線
	回線ごとの複数コール	回線ごとの最大コール数に関する制限が緩和されました。	回線ごとの複数コール
	Cisco Unified SIP IP Phone の電話アプリケーション	Cisco Unified SIP IP Phone で、電話アプリケーション機能のサポートが追加されました。	Cisco Unified SIP IP Phone の電話アプリケーション
	Olson タイムゾーン	telephony-service または音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードで <b>olsontimezone</b> コマンドを指定することで、新しいタイムゾーンを使用する新しい国、または市や州によってタイムゾーンが変更される既存の国に対応するために、タイムゾーン関連のコマンドまたは電話機のロードを更新する必要がなくなりました。	Olson タイムゾーン
	Cisco Unified SIP IP Phone に対するページンググループのサポート	<b>paging-dn</b> タグを指定し、ページング内線番号をダイヤルすることにより、音声レジスタ プールまたは音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードで <b>paging-dn</b> コマンドを使用して <b>paging-dn</b> タグまたはページンググループに関連付けられた Cisco Unified SCCP IP Phone にページングできます。	Cisco Unified SIP IP Phone に対するページンググループのサポート
	Cisco Unified SIP IP Phone のプログラム可能な回線キー	プログラム可能な回線キーとしてのソフトキーのサポートが、Cisco Unified 6911、6921、6941、6945、6961、8941、および 8945 SIP IP Phone に追加されました。	プログラム可能な回線キー (PLK)
	Cisco Unified SIP IP Phone のシングルナンバー リーチ	Cisco Unified SIP IP Phone の次の SNR 機能がサポートされます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>EM 機能をイネーブルまたはディセーブルにします。</li> <li>携帯電話でのコールを手動で回収します。</li> <li>モバイル PSTN 電話にコールを発信します。</li> <li>SNR 電話機が発信側であるか着信側であるかに関係なく、携帯電話にコールを発信します。</li> </ul>	Cisco Unified SIP IP Phone のシングルナンバー リーチ
	Cisco Unified SIP IP Phone の共有回線およびプレゼンス イベントに対する Unsolicited NOTIFY	Unsolicited NOTIFY メカニズムで、一括登録方式を使用する Cisco Unified SIP IP Phone 登録時のネットワークトラフィックを削減できます。	Cisco Unified SIP IP Phone の共有回線およびプレゼンス イベントに対する Unsolicited NOTIFY

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified SCCP IP Phone の仮想 SNR DN	仮想 SNR DN にコールを発信でき、SNR DN がどの電話機にも関連付けられていない場合でも、SNR 機能を起動できます。	Cisco Unified SCCP IP Phone の仮想 SNR DN
	音声およびビデオ ハードウェア会議	Cisco Unified SIP IP Phone は、アドホック会議とミーミー会議の作成者として動作することができます。音声会議とビデオ会議のストリームは、Cisco Unified CME を通じて参加している IP Phone から送信されます。	Configuring Voice and Video Hardware Conferencing
	音声ハント グループの機能拡張	<b>hunt-group statistics write-all</b> コマンドを使用して、すべての ephone および音声ハント グループ コール統計情報をファイルに書き込むことができます。	Hunt Groups
<b>Cisco Unified CME 8.8</b>			
8.8	Cisco Unified CME での Cisco WebEx Connect 7.2	CSTA インターフェイスを通じて、Cisco WebEx Connect で Cisco Unified CME の Cisco Unified IP Phone をモニタおよび制御できます。	『Cisco WebEx Connect 7.2 in Cisco Unified CME』
	CTI CSTA プロトコルスイートの拡張機能	コンピュータベース CSTA クライアントアプリケーションからの Dial-via-office 機能に対応し、CSTA サービスおよびイベントのサポートが追加されました。	Cisco Unified CME の CTI CSTA
	IP Phone ファームウェアおよびコンフィギュレーションファイルの HFS ダウンロードのサポート	HTTP File-Fetch Server (HFS) インフラストラクチャを使用した SIP および SCCP IP Phone のファームウェア、スクリプト、MIDlet、およびコンフィギュレーションファイルのダウンロードがサポートされました。	IP Phone ファームウェアおよびコンフィギュレーションファイルの HFS ダウンロードのサポート
	Cisco Unified IP Phone 用の HTTPS プロビジョニング	<b>import certificate</b> コマンドを使用して、IP Phone の信頼できる証明書を IP Phone の CTL ファイルにインポートできます。	Cisco Unified IP Phone 用の HTTPS プロビジョニング
	ローカリゼーションの機能拡張	Cisco Unified 3905 SIP および Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone のローカリゼーション サポートが追加されました。	システム定義のロケール
	プログラム可能な回線キーの機能拡張	プログラム可能な回線キーとしてのソフトキーのサポートが、Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone に追加されました。	プログラム可能な回線キー (PLK)
	リアルタイム転送プロトコル コール情報表示の機能拡張	<b>show ephone rtp connections</b> コマンドを使用して、アクティブな RTP コールに関する情報を表示できます。このコマンドの出力は、スニファを使用せずにパルス コード変調および Cisco Unified CME パケットをデバッグできるように基準を絞り込み、システムのすべての接続の概要を提供します。	リアルタイム転送プロトコル コール情報表示の機能拡張
	SIP インターコム	Cisco Unified CME システムに接続されている Cisco Unified SIP 電話機にインターコム サポートが追加されました。	SIP インターコム
	Cisco Unified 3905 SIP IP Phone のサポート	Cisco Unified CME システムに接続された SIP 電話機のサポートが追加されました。	Cisco Unified CME の電話機

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone のサポート	Cisco Unified CME システムに接続された SCCP 電話機のサポートが追加されました。	<a href="#">Cisco Unified CME の電話機</a>
<b>Cisco Unified CME 8.6</b>			
8.6	SIP 電話機の一括登録のサポート	SIP 電話機の一括登録のサポートが追加されました。	<a href="#">SIP 電話機の一括登録のサポート</a>
	不在着信/発信/受信コールリストのディレクトリ エントリのクリア  iPhone および iPod Touch ソフトフォン クライアントのサポート	電話のコール ログをクリアする機能が追加されました。  iPhone および iPod Touch 用 SIP クライアント ソフトウェアのサポートが追加されました。	<a href="#">ディレクトリ エントリのクリア</a>  <a href="#">『Support for Cisco Jabber』</a>
	未登録時コール転送の機能拡張	voice register dn タグで <b>call-forward b2bua unregistered</b> コマンドを使用する SIP IP Phone の CFU 機能のサポートが追加されました。	<a href="#">未登録時の不在転送</a>
	SIP 電話機のエクステンション モビリティのサポート	エクステンション モビリティに SIP 電話機のサポートが追加されました。	<a href="#">SIP 電話機拡張用エクステンション モビリティ</a>
	トランスレーション ルール数の拡張	トランスレーション ルール テーブルのルール数が 1 テーブルあたり 15 から 100 に拡張されました。	<a href="#">Callback-Number のトランスレーション ルールの定義</a>
	SIP IP Phone のローカリゼーション サポート	SIP IP Phone のローカリゼーション サポートが追加されました。	<a href="#">Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーション サポート</a>  <a href="#">複数のロケール</a>  <a href="#">SCCP : ローカリゼーション サポートの設定方法</a>  <a href="#">複数のロケールの設定</a>
	DTLS を使用する CUCME での SSL VPN サポート	拡張 SSL VPN サポートが追加されました。SSL VPN 接続を通じて、企業ネットワークの外部にある 7945、7965、7975 などの Cisco Unified SCCP IP Phone を Cisco Unified CME に登録できます。	<a href="#">DTLS による Cisco Unified CME での SSL VPN サポート</a>  <a href="#">Configuring SSL VPN Client with DTLS on Cisco Unified CME</a>
	7926G Wireless SCCP IP Phone のサポート	7926G Wireless SCCP IP Phone のサポートが追加されました。	<a href="#">Cisco Unified CME の電話機</a>
	ビデオ会議およびトランスコーディング	オンボード デジタル シグナル プロセッサ リソース (PVDM3) を使用して、アドホックまたはミートミー ビデオ会議コールを容易に行えます。	<a href="#">Configuring Video Conferences</a>  <a href="#">トランスコーディング リソースの設定</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified IP Phone 8961、9951、および 9971 でのビデオおよびカメラ サポート	IP Phone 8961、9951、および 9971 のビデオ サポートが追加されました。	Cisco Unified IP Phones 8961、9951、および 9971 用の SIP エンドポイント ビデオおよびカメラのサポート
<b>Cisco Unified CME 8.5</b>			
8.5	カスタマイズされたボタン レイアウト	ボタン レイアウト機能を使用して、電話機のさまざまなボタン タイプの表示順をカスタマイズできます。ボタン レイアウト機能を使用すると、次のタイプのボタン表示をカスタマイズできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>回線ボタン</li> <li>短縮ダイヤル ボタン</li> <li>BLF スピード ダイヤル ボタン</li> <li>機能ボタン</li> <li>サービスの URL ボタン</li> </ul>	SCCP 電話機でのボタン レイアウトの設定 SIP 電話機でのボタン レイアウトの設定
	カスタマイズ可能な電話機のユーザ インターフェイス サービス	プログラム可能な回線キー (PLK) の <b>url-button</b> コマンドを使用して、個々のサービス項目をボタンに割り当てることによって、電話機のユーザ インターフェイスでエクステンション モビリティ、電話アプリケーション、およびシングル ナンバー リーチ (SNR) など、個々のサービス項目の可用性をカスタマイズできます。	『Customized Phone User Interface Services』
	E.164 の機能拡張	電話番号を +E.164 電話番号形式で表示できます。E.164 は国際電気通信連合 (ITU-T) の勧告で、PSTN およびその他のデータ ネットワークで使用される国際公衆電気通信番号計画を定義します。	『E.164 Enhancements』
	音声ハン ト グループ制限の機能拡張	音声ハン ト グループで <b>call forward noan</b> コマンドが設定されている場合に、音声ハン ト グループ メンバのタイムアウト値、および <b>call forward no answer</b> タイマーを無視できます。	『Enhancement to Voice Hunt Group Restriction』
	機能ポリシー ソフトキー制御	機能ポリシー テンプレートを使用して、Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、および 9971 でソフトキーを制御できます。機能ポリシー テンプレートを使用すると、Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、9971 で機能ソフトキーのリストをイネーブルおよびディセーブルにできます。	『Feature Policy Softkey Control』
	強制承認コード	強制承認コード (FAC) 機能を通じてコール アクセスおよびコール アカウンティングを管理できます。FAC 機能では特定の発信者が発信するコールのタイプを規制し、コールを発信する前に、電話機で有効な承認コードを入力することを発信者に強制します。FAC を使用すると、フリーダイヤルではない番号にダイヤルした発信者や長距離電話を追跡できます。また、アカウンティングおよび請求の目的で追跡する場合があります。	『Configuring Forced Authorization Code』

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	SIP 電話機の即転送	ボイス メッセージング システムに、にコールをすぐに転送できます。ボイス メッセージング システム (Cisco Unity Express または Cisco Unity) が搭載された 7940、7040G、7960 G、7945、7965、7975、8961、9951、9971 などの Cisco Unified SIP IP Phone で [即転送 (iDivert)] ソフトキーを押すと、コールをボイス メッセージング システムに転送できます。	『SIP: Configuring Immediate Divert (iDivert) Soft Key』
	SIP-SIP トランク コールのメディア フロー アラウンドのサポート	メディア フロー アラウンド機能によって Cisco Unified CME での RTP の終了および再発信の必要がなくなり、メディア切り替えの遅延が減少し、これによって Cisco Unified CME SIP トランクのためのコール処理のキャパシティが向上しました。	『SIP: Enabling Media Flow Mode on SIP Trunks』
	SIP IP Phone および SCCP IP Phone に対する オーバーラップ ダイヤルのサポート	SCCP IP Phone および SIP IP Phone の 7942、7945、7962、7965、7970、7971、7975 などでもオーバーラップ ダイヤルができます。	SIP IP Phone および SCCP IP Phone に対する オーバーラップ ダイヤルのサポート
	パーク モニタリング	パーク中のコールが取得または破棄されるまでコールをパークし、パーク中のコールのステータスをモニタリングすることができます。Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、または 9971 は [パーク (Park)] ソフトキーを使用してコールをパークし、パーク モニタリング機能はパーク中のコールのステータスをモニタリングします。	『Park Monitor』
	BLF スピード ダイヤルのための電話機ユーザ インターフェイス	エクステンション モビリティ (EM) ユーザがサービス機能のボタンを使用して電話機で直接 dn ベースのビジー ランプ フィールド (BLF) スピード ダイヤルを設定できます。BLF スピード ダイヤル設定は、[サービス (Services)] ボタンで使用できるメニューを使用して、電話機で追加または修正 (変更または削除) されます。	『Enabling BLF-Speed-Dial Menu』
	プログラム可能な回線キー (PLK)	電話機の回線キー上の機能ボタンまたは URL サービス ボタンをプログラムできます。回線キーは、回線ボタン、スピードダイヤル、BLF スピードダイヤル、機能ボタン、および URL ボタンとして設定できます。	プログラム可能な回線キー (PLK)
	SNR の機能強化	Cisco Unified CME に、拡張されたシングル ナンバー リーチ機能が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア会議</li> <li>コール パーク、コール ピックアップ、およびコール取得</li> <li>Answer Too Soon Timer</li> <li>携帯電話で応答後の SNR 電話の呼び出し停止</li> </ul>	『SCCP: Configuring Single Number Reach Enhancements』
	SCCP IP Phone での SSL VPN クライアントのサポート	7945、7965、7975 などの SCCP IP Phone で Secure Sockets Layer (SSL) バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) が可能です。	『Configuring SSL VPN Client for SCCP IP Phones』

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified CME の XML API	eXtensible Markup Language (XML) アプリケーションプログラミング インターフェイス (API) のサポートが追加されました。	『XML API for Cisco Unified CME』
<b>Cisco Unified CME 8.1</b>			
8.1	電話ハッカーの侵入阻止	Cisco Unified CME で電話ハッカーの侵入阻止をイネーブルにして、権限のないユーザによる電話ハッカーの侵入の可能性から Cisco Unified CME システムを保護できます。	Configuring Toll Fraud Prevention
	SIP 電話機設定の機能拡張	SIP 電話機の登録プロセスの確認、グローバル登録パラメータの削除、Cisco Unified CME への登録を試行して失敗した電話に関する詳細の表示ができます。	『Cisco Unified CME Commands: show presence global through subnet.』
	Cisco Unified 6901 および 6911 SCCP IP Phone のサポート	新しい SCCP IP Phone 6901 および 6911 のサポートが追加されました。	『Ephone-Type Parameters for Supported Phone Types』

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 8.0(1)</b>			
8.0	コール待機のキャンセル	SCCP 電話機ユーザが、自分が発信したコールのコール待機をディセーブルにできます。	コール カバレッジ機能の設定
	CTI CSTA プロトコルスイート	Microsoft Office Communicator (MOC) クライアントなど、コンピュータ ベースの CSTA クライアントアプリケーションによって Cisco Unified CME システムのモニタおよび制御を行い、Cisco Unified CME に登録されている SCCP テレフォニー デバイスをプログラマ的に制御できます。	CTI CSTA プロトコルスイートの設定
	SCCP エンドポイントの IPv6 サポート	SCCP 電話機の IPv6 サポートが追加されました。SCCP 電話機は、IPv4 のみまたは IPv4 と IPv6 の両方 (デュアル スタック) をサポートする任意の SCCP デバイスをサポートし、これらと対話できます。	IPv4、IPv6、またはデュアル スタック モードでの IP Phone の設定
	論理パーティショニング制限クラス (LPCOR)	Cisco Unified CME に登録されている IP Phone またはアナログ電話機の単一のディレクトリ番号で、Telecom Regulatory Authority of India (TRAI) 規則で指定されている制限に従い、PSTN コールと VoIP コールの両方に接続できます。	コール制約規制
	MLPP の機能拡張	Cisco Unified CME に、以下を含む拡張された Multilevel Priority and Preemption (MLPP) 機能が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>隔離されたコード (ICA)、許可されない優先順位レベル (UPA)、C2 機能の損失 (LOC2)、および空のコード (VCA) に対する追加の MLPP 通知</li> <li>Defense Switched Network (DSN) および Defense Red Switched Network (DRSN) 用の複数のサービスドメイン</li> <li>ダイヤル形式でのコードおよびサービス デジットのルーティング</li> <li>アナログ FXS ポートでの、3 者間会議、コール ピックアップ、コール待機のキャンセルなど、補足サービスのサポート</li> </ul>	MLPP の設定
	保留音の拡張機能	異なるメディア ソースからの保留音のサポートが追加されました。	さまざまなメディア ソースをサポートする保留音の設定
	セキュアな IP Phone (IP-STE) のサポート	セキュアな IP Phone (IP-STE) のサポートが追加されました。	セキュアな IP Phone (IP-STE) のサポート

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 7.1</b>			
7.1	Cisco VG202、VG204、および VG224 の自動設定	Cisco VG202、VG204、および VG224 Analog Phone Gateway を Cisco Unified CME から自動的に設定できます。	「基本的なコール発信のための電話機の設定」
	SIP 電話機の割り込みと C 割り込み	電話機ユーザが SIP 共有回線のディレクトリ番号のコールに参加できます。	「割り込みとプライバシーの設定」
	DnD、コールパーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリング	DND 対応になるディレクトリ番号、またはコールパークスロット、ページング番号、または会議番号として設定されたディレクトリ番号用のビジーランプフィールド (BLF) インジケータが提供されました。	「プレゼンスサービスの設定」
	デバイスの BLF モニタリング	デバイスベースの BLF モニタリングがサポートされ、ウォッチャが電話機の回線だけではなく、電話機のステータスもモニタできます。	「プレゼンスサービスの設定」
	SIP 電話機のビジートリガーおよびチャンネルハントストップ	着信コールによる電話機のオーバーロードを防止するために、SIP 電話機のディレクトリ番号に対するビジートリガーおよびチャンネルハントストップが提供されました。	「基本的なコール発信のための電話機の設定」
	コールパークの機能拡張	SIP 電話機にコールパーク機能が追加され、ダイレクトコールパーク機能が拡張されました。	「コールパークの設定」
	コールピックアップの機能拡張	SIP 電話機にコールピックアップ機能が追加され、ユーザが [G ピック (GPickUp)] ソフトキーを使用してダイレクトコールピックアップを実行できます。	「コールカバレッジ機能の設定」
	SIP 電話機の DND の機能拡張	DND の動作が変更され、SIP 電話機が呼び出し音を鳴らす代わりに着信コールを視覚的に示すアラートを点滅させ、必要な場合は応答できます。	「サイレントの設定」
	DSCP	Cisco Unified IP Phone で、DiffServ コードポイント (DSCP) パケットマーキングがサポートされました。	「System-Level パラメータの設定」
	SIP 電話機のプライバシー	他のユーザがコール情報を表示したり、SIP 共有回線のディレクトリ番号のコールに介入したりできないように、電話機ユーザがブロックできます。	「割り込みとプライバシーの設定」
	共有回線のディレクトリ番号	SIP 電話機に共有回線のディレクトリ番号が追加されました。	「基本的なコール発信のための電話機の設定」
	シングルナンバーリッチ (SNR)	ユーザが自分のデスクトップ IP Phone またはリモート送信先 (携帯電話など) から着信コールに応答できます。	「シングルナンバーリッチ (SNR) の設定」
	SCCP エンドポイントの SIP トランクビデオサポート	SIP トランクで接続された異なる Cisco Unified CME ルータにまたがる SCCP エンドポイント間で、ビデオコールがサポートされました。ビデオコールでは、H.264 コーデックがサポートされます。	「ビデオサポートの設定」
ウィスパーインターコム	着信側がビジーかアイドルかに関係なく、発信側から着信側への一方向音声パスが提供されます。着信側の電話機は、自動的にスピーカーフォンモードで応答します。	「インターコム回線の設定」	

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 7.0(1)</b>			
7.0(1)	(注) Cisco Unified CME 7.0 には、Cisco Unified Communications のバージョンに合わせて番号が再割り当てされた Cisco Unified CME 4.3 と同じ機能が含まれます。		
	Cisco Unified CME の使いやすさの向上	<p>cnf の場所がルータのフラッシュ メモリまたはルータ スロット 0 メモリの場合、拡張された <b>load</b> コマンドを使用して TFTP バインディングが自動的に作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての SCCP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケール インストーラが導入されました。</li> <li>ローカリゼーションに必要な TFTP エイリアスが自動的に作成されます。</li> <li>Cisco Unified CME 7.0 以前のバージョンのコンフィギュレーション方式との下位互換性が提供されます。</li> </ul>	<p>System-Level パラメータの設定方法</p> <p>SCCP : バージョン間での電話機ファームウェアのアップグレードまたはダウングレード</p> <p>ローカリゼーション サポートの設定</p>
	Cisco Unified CME の TAPI 拡張機能	ステータスがフリーズになっているか、同期されていない TAPI セッションとの関連付けを解除し、再確立する Cisco IOS コマンドが導入されました。	電話機のリセットと再起動
	Cisco Unity Express AXL の機能拡張	Cisco Unified CME と Cisco Unity Express のパスワードが自動的に同期されます。	ボイスメール統合
	Cisco Unified IP Phone	<p>次の電話機タイプ (Cisco Unified Communications Manager Express 7.0/4.3 のサポート対象ファームウェア、プラットフォーム、メモリ、および音声製品) に SCCP サポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unified Wireless IP Phone 7925</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager Express 7.0/4.3 Supported Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products』
	Cisco Unified CME での VRF サポート	VRF を通じて、Cisco Unified CME に会議、トランスコーディング、RSVP コンポーネントのサポートが追加されました。また、データ VRF リソースのソフトフォンおよび TAPI クライアントが VRF 音声ゲートウェイの電話機と通信できます。	「VRF サポートの設定」
<b>Cisco Unified CME 7.0/4.3</b>			
7.0/4.3	SRST フォールバックモードでのディレクトリ番号の自動プロビジョニング	SRST フォールバック モードの Cisco Unified CME が ephone 設定から自動的に「学習」した ephone-dn のオクトラインまたはデュアルラインディレクトリ番号を作成するかどうかを指定できます。	「SRST フォールバックモードの設定」
	割り込み	電話機ユーザが、[C 割込 (Ccharge)] ソフトキーを押し、コールをアドホック会議に変換することで、共有オクトラインディレクトリ番号のコールに参加できます。	「割り込みとプライバシーの設定」
	コール転送取消	転送先が応答しない場合、転送したコールを、転送を開始した電話機に戻すことができます。	「コール転送とコール自動転送の設定」

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco 3200 シリーズ モバイル アクセス ルータ	Cisco 3200 シリーズ モバイル アクセス ルータでの Cisco Unified CME のサポートが追加されました。	「Cisco Unified CME の概要」
	Cisco Unified IP Phone	次の電話タイプの SCCP サポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 7915 Expansion Module</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7916 Expansion Module</li> <li>• Cisco Unified IP Conference Station 7937</li> <li>• Nokia E61</li> </ul> 次の電話タイプの SIP サポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 7942G および 7945G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7962G および 7965G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7975G</li> </ul>	『Cisco Unified Communications Manager Express 7.0/4.3 Supported Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products』
	コンサルタティブ転送の機能拡張	コンサルタティブ コール転送の番号収集プロセスが変更されました。電話機ユーザがコンサルタティブ転送のために [転送 (Transfer)] ソフトキーを押すと、新しいコンサルタティブ コール レッグが作成され、ダイヤルした転送先番号の番号が転送パターンと一致してコンサルタティブ コールがアラート状態になるまで、[転送 (Transfer)] ソフトキーが非表示になります。	「コール転送とコール自動転送の設定」
	ディレクトリ検索の機能拡張	ディレクトリ検索機能を使用する際に検索結果リストでサポートされるエントリ数が 32 から 240 に増えました。	「ディレクトリ サービスの設定」
	エクステンション モビリティの拡張機能	次のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動ログアウト。次のものなど。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– すべての EM ユーザを自動的にログアウトするための、設定可能な時刻タイマー。</li> <li>– アイドル状態の EM 電話機から単一ユーザをログアウトする設定可能なアイドル時間タイマー。</li> </ul> </li> <li>• ユーザが EM からログアウトするときの電話履歴の自動クリア。</li> </ul>	エクステンション モビリティの設定
	電話タイプの設定	Cisco IOS ソフトウェアをアップグレードせずに、構成に新しい電話タイプを動的に追加できます。	「基本的なコール発信のための電話機の設定」
	ライブ レコード	Cisco Unity Express がボイスメール システムの場合に、IP Phone ユーザが電話の会話を録音できます。	「ボイスメール統合」
	ephone の最大数	<b>max-ephones</b> コマンドを使用して、Cisco Unified CME に登録できる SCCP 電話機の最大数を設定できます。設定可能な数は制限されません。この機能拡張によって、設定できる電話機の最大数も 1000 に拡大されました。	「System-Level パラメータの設定」
	オクトライン ディレクトリ番号	電話機の単一のボタンで最大 8 つのアクティブ コール (着信と発信の両方) をサポートするオクトライン ディレクトリ番号が追加されました。デュアルライン ディレクトリ番号とは異なり、オクトライン ディレクトリ番号では、ディレクトリ番号を共有する他の電話機とチャンネルを分け合うことができます。	「基本的なコール発信のための電話機の設定」

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	プライバシー	他のユーザがコール情報を表示したり、共有オクトラインディレクトリ番号のコールに介入したりできないように、電話機ユーザがブロックできます。	「割り込みとプライバシーの設定」
	Push-to-Talk	Cisco Unified CME で、機能をサポートする外部サーバを必要としない One-Way Push-to-Talk (PTT) のサポートが追加されました。PTT は、親指ボタン付きの Cisco Unified Wireless IP Phone で、バージョン 1.0.4 以降のファームウェアでサポートされます。	SCCP : Cisco Unified Wireless IP Phone での一方向 Push-to-Talk の設定
	スピードダイヤル/ファストダイヤル電話ユーザインターフェイス	IP Phone ユーザが、電話機から直接、自分のスピードダイヤルおよびファストダイヤルを設定できます。エクステンション モビリティ ユーザは、ログイン後に自分のユーザプロフィールでスピードダイヤル設定を追加または変更できます。	「スピードダイヤルの設定」
	ボイスメールへの転送	電話機ユーザが、[VM 転送 (TrnsfVM)] ソフトキーを押すことで、コールを直接ボイスメール内線番号に転送できます。	「ボイスメール統合」
	音声ハント グループの機能拡張	次の音声ハント グループ機能がサポートされました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パラレル音声ハント グループ (ブラスト ハント グループ) へのコール自動転送。</li> <li>音声ハント グループへのコール転送。</li> <li>音声ハント グループのメンバは、SCCP 電話機、FXS アナログ電話、DS0 グループ、PRI グループ、SIP 電話機、または SIP トランクが可能です。</li> </ul>	「コール カバレッジ機能の設定」
<b>Cisco Unified CME 4.2(1)</b>			
4.2(1)	コール ブロッキングの機能拡張	IP Phone および PSTN トランク回線で、選択的コール ブロッキングのサポートが追加されました。	「コール ブロッキングの設定」
	Extension Assigner の同期	設定の変更をバックアップ システムと自動的に同期する機能がサポートされました。	Extension Assigner を使用した電話機の設定の作成
	Cisco Unified CME GUI でのエクステンション モビリティ電話機ユーザのサポート	電話機ユーザが EM プロファイルの名前とパスワードを使用して、Cisco Unified CME GUI にログインし、EM 電話の個人のスピードダイヤルを設定できます。GUI の EM オプションは、システム管理者またはカスタマー管理者のログイン画面からはアクセスできません。	Cisco Unified CME GUI へのアクセス

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 4.2</b>			
4.2	Enhanced 911 サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ERL をゾーンに割り当てることで、発信者から最も近い PSAP にルーティングできます。</li> <li>• デフォルト ELIN、コールバック用に指定された番号、最終発信者テーブルの有効時間、および緊急コールの syslog メッセージを定義して、E911 サービスをカスタマイズできます。</li> <li>• 名前およびアドレスが含まれるように、E911 位置情報が拡張されました。</li> <li>• テンプレートを使用して、電話のグループに ERL を割り当てます。</li> <li>• 永続的なコール詳細レコードが追加されました。</li> </ul>	『 <a href="#">Configuring Enhanced 911 Services</a> 』
	エクステンション モビリティ	エクステンション モビリティがイネーブルになっている、任意のローカル Cisco Unified IP Phone にユーザがログインできるようにすることで、電話機のモビリティという利点をエンドユーザに提供します。	<a href="#">エクステンション モビリティの設定</a>
	Cisco Unified Contact Center Express (Cisco UCCX) との相互運用性	Cisco Unified IP IVR、拡張コール処理、デバイスおよびコール モニタリング、複数のコール センター エージェントへの不在コール転送および基本的なエクステンション モビリティなど、Cisco Unified CME と、Cisco Customer Response Solutions (CRS) 5.0 以降のバージョンと Cisco Unified Contact Center Express (Unified CCX) の組み合わせのと間の相互運用が可能になりました。	<a href="#">Cisco Unified CCX との相互運用性の設定</a>
	Cisco Unified Communications Manager Express でのメディア暗号化 (SRTP)	<p>次の、セキュアな音声コール機能が提供されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Secure Real-Time Transport Protocol (SRTP) および H.323 プロトコルを使用した、Cisco Unified CME ネットワークでのセキュア コール制御シグナリングおよびメディア ストリーム。</li> <li>• H.323 トランクを使用した Cisco Unified CME ネットワークのセキュア補足サービス。</li> <li>• セキュアな Cisco VG224 Analog Phone Gateway エンドポイント。</li> </ul>	『 <a href="#">セキュリティの設定</a> 』
<b>Cisco Unified CME 4.1</b>			
4.1	すべてのコールの転送の同期	ユーザが SIP 電話機で [不在 (CfwdAll)] ソフトキーを使用して不在転送をイネーブルにすると、サービスの Uniform Resource Identifier (URI) が Cisco Unified CME に送信されます。Cisco Unified CME で不在転送が設定されると、設定が SIP 電話機に送信され、不在転送がイネーブルになったことを示すために [不在 (CfwdAll)] ソフトキーが更新されます。	<a href="#">コール転送とコール自動転送の設定</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	Cisco Unified IP Phone	<p>次の電話機の SCCP サポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 7921G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7942G および 7945G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7962G および 7965G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7975G</li> </ul> <p>次の電話機の SIP サポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 3911</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 3951</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7911G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7970G および 7971G-GE</li> </ul> <p>これらの電話機での追加設定は必要ありません。適切な Cisco IOS コマンドでサポートされます。</p>	<a href="#">『Cisco Unified CME 4.1 Supported Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products』</a>
	ディレクトリ サービス	SIP 電話機のローカル ディレクトリ機能およびローカル短縮ダイヤル機能がサポートされました。	<a href="#">ディレクトリ サービスの設定</a>
	コール自動転送およびコール転送の SIP 補足サービスのディセーブル化	<p>送信先ゲートウェイが補足サービスをサポートしていない場合に、Cisco Unified CME がコール転送のための REFER メッセージおよびコール自動転送のためのリダイレクト応答を送信しないようになります。</p> <p>すべてのエンドポイントが SCCP を使用している場合、またはすべてのエンドポイントが SIP を使用している場合に、補足サービスのディセーブル化がサポートされます。</p>	<a href="#">コール転送とコール自動転送の設定</a>
	SRST フォールバックモードの Cisco Unified CME の Enhanced 911 サービス	911 をダイヤルした発信者が正しい場所にルーティングされるようになりました。	<a href="#">『Configuring Enhanced 911 Services』</a>
	KPML	Key Press Markup Language (KPML) で SIP 電話機ユーザの Cisco Unified CME への入力を桁単位でレポートできます。これは、ダイヤルされた番号を収集しながら、宛先パターンをダイヤルピアと照合することで、パターン認識を実行するものです。	<a href="#">基本的なコール発信のための電話機の設定</a>
	マルチパーティ会議の機能拡張	<p>次の機能拡張が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張されたアドホック会議は、ハードウェア ベースで、4 人以上が参加できます。</li> <li>• ミートミー会議は、ミートミー会議番号をダイヤルした 3 人以上で構成されます。</li> </ul>	<a href="#">会議の設定</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	ネットワーク タイム プロトコル	Cisco Unified CME ルータに登録されている SIP 電話機が、ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバ (クロック マスター) と同期できます。	ネットワーク パラメータの定義
	Out-of-Dialog REFER	リモート アプリケーションが、Out-Of-Dialog REFER (OOD-R) メッセージを Cisco Unified CME に送信することで、初期 INVITE なしでコールを確立できます。REFER メッセージが送信された後、コール セットアップの残りの部分はアプリケーションから独立し、メディア ストリームはアプリケーションを通過しなくなります。	ネットワーク パラメータの定義
	BLF ステータスを使用したプレゼンス	プレゼンスが、不在履歴、発信履歴、着信履歴に関する短縮ダイヤルボタンおよびディレクトリ コールリストの BLF 通知機能をサポートできます。BLF スピードダイヤル機能と BLF コール リスト機能をサポートする SIP 電話機と SCCP 電話機は、社内および社外のディレクトリ番号のステータス通知を登録できます。	プレゼンス サービスの設定
	電話機の再起動	<b>restart</b> コマンドを使用して、SIP 電話機を簡単にリセットできます。電話機は更新された設定情報を取得するため TFTP サーバに接続し、再登録は DHCP サーバに接続しないで行います。	電話機のリセットと再起動
	セッション転送	Cisco Unified CME に接続されているサポート対象 SIP 電話機で、TCP を転送プロトコルとして使用できます。以前は、UDP だけがサポートされていました。	基本的なコール発信のための電話機の設定
	SIP ダイヤル プラン	ダイヤル プランを使用してユーザ入力が収集されるため、SIP 電話機がローカル番号収集を実行し、ダイヤル パターンを認識できます。パターンが認識された後、SIP 電話機は INVITE メッセージを Cisco Unified CME に送信し、コールを開始します。	基本的なコール発信のための電話機の設定
	ソフトキー	コールのステータスが接続、保留、アイドル、捕捉のときに、個別の SIP 電話機に表示されるソフトキーの表示および順序をカスタマイズできます。	ソフトキーのカスタマイズ
	変換ルール	Cisco Unified CME システムの SIP 電話機が、SCCP を実行している電話機と似た機能で変換ルールをサポートできます。変換ルールは、SIP 電話機のディレクトリ番号への着信コールに適用できます。	ダイヤルプランの設定

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
<b>Cisco Unified CME 4.0(3)</b>			
4.0(3)	AMWI	Cisco Unified IP Phone 7911 および Cisco Unified IP Phone 7931G が、外部の音声メッセージング システムからの AMWI (Audible Message Line Indicator) および視覚的な MWI 通知を受信するように設定できます。	ボイスメール統合
	Cisco Unified IP Phone	次の電話機のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 7906G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7931G</li> </ul>	『Cisco Unified CME 4.0(3) Supported Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products』
	DSS	コールが接続ステータスのときに、電話ユーザがスピードダイヤル回線ボタンを 1 回押すことで着信コールを転送できる、DSS (Direct Station Select) 機能が導入されました。この機能は、スピードダイヤル用のモニタ回線ボタンまたはスピードダイヤル回線ボタンが設定されている、すべての電話機でサポートされます。	スピードダイヤルの設定
	Extension Assigner	Cisco Unified CME への管理アクセス権がなくても、インストール技術者が内線番号を電話機に割り当てることができます。通常は、新しい電話機のインストール時、または故障した電話機の交換時に行われます。	Extension Assigner を使用した電話機の設定の作成
	ファクス リレー	SCCP 拡張機能が導入され、Cisco ファクス リレーおよびスーパー G3 (SG3) から G3 へのファクス リレーのサポートが追加されました。この機能によって、2 台の SG3 ファクス機間でのファクス ストリームを G3 速度 (14.4 kbps 未満) に下げるネゴシエートが可能になり、SG3 ファクス機がファクス リレーで G3 ファクス機と相互運用できるようになります。	ファクス リレーの設定
<b>Cisco Unified CME 4.0(1)</b>			
4.0(1)	コール自動転送	<p><b>ナイト サービス中の自動コール転送:</b> ナイト サービスが有効な時間、指定した番号に自動的に転送されるように ephone-dn (内線) を指定できます。</p> <p><b>ローカル コールのコール自動転送のブロック:</b> 他の Cisco Unified CME ephone からのローカル (社内) コールの自動転送をブロックできます。その状態でも、社外コールは ephone-dn の設定で指定されているとおりに転送されます。</p> <p><b>選択的コール転送:</b> 特定の ephone-dn に対して発信者がダイヤルした番号 (プライマリ番号、セカンダリ番号、またはダイヤル プラン パターンを使用して拡張されたこれらの番号のいずれか) に基づいて、ビジーまたは無応答 ephone-dn のコール自動転送を選択的に適用できます。</p>	コール転送とコール自動転送の設定

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	コール パーク	<p><b>ephone ごとのコール パークのブロック</b> : コール パーク スロットでコールがパークされないように、ephone を個別にブロックできます。</p> <p><b>コール パーク リダイレクト</b> : コール パークおよびパークされたコールのピックアップに、H.450 または SIP Refer 方式のコール自動転送または転送を使用するように指定できます。</p> <p><b>専用コール パーク スロット</b> : 各 ephone に、プライベートなコール パーク スロットを設定できます。</p> <p><b>モニタされているパークスロットにパークされたコールの直接ピックアップ</b> : 割り当てられているモニタ ボタンを押すことで、モニタされているコール パーク スロットにパークされたコールをピックアップできます。</p>	<a href="#">コール パークの設定</a>
	コール ピックアップ	<p><b>ダイレクト コール ピックアップのディセーブル</b> : <b>no service directed-pickup</b> コマンドで、ダイレクト コール ピックアップがグローバルにディセーブル化され、[ ピック (PickUp) ] ソフトキーのアクションが、ダイレクト コール ピックアップからローカル グループ ピックアップの呼び出しに変更されます。</p>	<a href="#">コール カバレッジ機能の設定</a>
	コール転送	<p><b>コール転送のブロック</b> : Cisco Unified CME システム外の電話機へのコール転送がグローバルにイネーブル化されているときに、個別の ephone へのコール転送をブロックできます。</p> <p><b>コール転送宛先桁数の制限</b> : Cisco Unified CME システム外の電話機へのコール転送がグローバルにイネーブル化されているときに、コールの転送時にダイヤルできる桁数を制限できます。</p> <p><b>transfer-system コマンド</b> : コマンドのデフォルトが、<b>blind</b> キーワードから <b>full-consult</b> キーワードに変更され、H.450.2 コンサルタティブ転送がデフォルト方式になりました。</p> <p><b>QSIG 補足サービスのサポート</b> : H.450 補足サービス機能によって、Cisco Unified CME Phone が QSIG を使用して PBX 電話と相互動作作用できます。IP Phone は、適切な MWI 通知によって PBX メッセージセンターを使用できます。</p>	<a href="#">コール転送とコール自動転送の設定</a>
	Cisco Unified IP Phone	<p>次の電話機のサポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone 7911G</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE</li> </ul> <p>これらの電話機での追加設定は必要ありません。適切な Cisco IOS コマンドでサポートされます。</p>	<a href="#">『Cisco Unified CME 4.0 Supported Firmware, Platforms, Memory, And Voice Products』</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	会議	<p>最後の参加者のドロップまたは接続済み参加者の維持：新しいオプションによって、会議に参加した最後の参加者を会議からドロップできるかどうか、および、会議を開始した参加者が会議から抜けた後で残った 2 人の参加者を接続したままにするかどうかを指定します。</p> <p>会議の表示の改善：3 者間会議に接続されている Cisco Unified IP Phone に [会議 (Conference)] と表示されるようになりました。特別な設定は不要です。</p>	<a href="#">会議の設定</a>
	機能アクセスコード	<p>機能アクセスコード (FAC) のサポート：アナログ電話で使用されるものと同じ FAC を IP Phone でイネーブルにできます。さらに、標準の FAC をカスタマイズしたり、FAC と、機能をアクティブにするために必要な追加の番号を簡単にダイヤルできるようにエイリアスを作成したりできます。</p>	<a href="#">機能アクセスコードの設定</a>
	ヘッドセット自動応答	<p>ヘッドセット自動応答：電話機のヘッドセットキーがアクティブの場合、ヘッドセット自動応答に指定されている電話機の回線は、電話機ユーザに着信コールを通知するアラート音を再生した後で自動的に着信コールを接続します。この機能は、Cisco Unified IP Phone 7940G、7960G、7970G、および 7971G-GE で使用できます。</p>	<a href="#">ヘッドセット自動応答の設定</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	ハント グループ	<p><b>エージェントのステータス制御</b>：ハント グループ エージェントは、[ハント (HLog) ] ソフトキーを使用して、電話機を受信不可ステータスにして一時的にハント グループ コールの受信を保留できます。新しい FAC では、ステータスを受信可と受信不可の間で切り替えることができます。</p> <p><b>自動エージェント受信不可ステータス</b>：ハント グループ エージェントを受信不可ステータスにする基準（以前は自動ログアウトと呼ばれていました）が変更されました。エージェントが <b>auto logout</b> コマンドで指定された一定回数、連続してハント グループ コールに 응답しない場合、エージェントの <b>ephone-dn</b> は受信不可ステータス（ログアウト）になり、以降のハント グループ コールを受信しません。</p> <p><b>コール保留統計情報</b>：コールが保留ステータスだった時間の長さを示す新しいフィールドが、Cisco Unified CME B-ACD アプリケーションの統計レポートにあります。 『<a href="#">Cisco Unified CME B-ACD and Tcl Call-Handling Applications</a>』の <b>show ephone-hunt statistics</b> コマンドおよび <b>hunt-group report url</b> コマンドを参照してください。</p> <p><b>動的なハント グループ メンバシップ</b>：ハント グループにワイルドカード スロットが設定され、エージェントの <b>ephone-dn</b> がハント グループへの参加を許可されている場合、エージェントは、標準またはカスタム FAC を使用してハント グループへの参加またはハント グループからの脱退ができます。</p> <p><b>hops コマンドのデフォルトの変更</b>：ハント グループで許可されるホップの最大数が、動的に変更されるメンバ数を反映するように自動的に調整されます。</p> <p><b>ephone ハント グループ情報の表示の機能拡張</b>：設定の出力に情報を提供し、ハント グループ コールの呼び出しまたは応答があったとき、またはすべてのハント グループ メンバがログアウトしたときに IP Phone に表示されるテキスト文字列を追加できます。</p> <p><b>連続する ephone ハント グループでのローカル コール転送の制約</b>：連続する ephone ハント グループで、ハント グループへのローカル（社内）コールがハント グループ内の最初の <b>ephone-dn</b> を超えて転送されないようにできます。</p>	<p><a href="#">コール カバレッジ機能の設定</a></p>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	ハント グループ	<p><b>最長アイドルハントグループの改善</b>：from-ring コマンドで、コールがエージェントを呼び出したとき、およびエージェントがコールに応答したときにオンフックのタイムスタンプを更新するように指定します。</p> <p><b>エージェントの最大数</b>：ハントグループごとのエージェントの最大数が、10 から 20 に拡張されました。特別な設定は不要です。</p> <p><b>ハントグループの最大数</b>：Cisco Unified CME システムごとのハントグループの最大数が、10 から 100 に拡張されました。特別な設定は不要です。</p> <p><b>無応答タイムアウトの拡張</b>：ephone ハントグループの無応答タイムアウトをリストの ephone-dn ごとに、個別に設定できます。最大累積無応答タイムアウトも設定できます。</p> <p><b>アイドルまたはオンフックの電話機へのコールプレゼンテーションの制限</b>：ハントグループ コールのプレゼンテーションを、アイドルまたはオンフック状態の電話機のハントグループ メンバに制限できます。この機能拡張では、ハントグループ コールのプレゼンテーションを制限するときに、電話機のすべての回線（ハントグループのメンバと非メンバの両方）が考慮されます。</p> <p><b>コールパーク後の ephone ハントグループのセカンダリ送信先へのリターン</b>：ハントグループ エージェントによってパークされたコールをハントグループの別のエン트리 ポイントに戻すことができます。</p> <p><b>ephone ハントグループ無応答時の転送元へのリターン</b>：ハントグループに転送され、応答されなかったコールを、ボイスメールまたは別の最終的な宛先に送信するのではなく、そのコールをハントグループに転送した参加者に戻すことができます。</p>	<a href="#">コール カバレッジ機能の設定</a>
	ローカリゼーション	<p><b>複数のユーザ ロケールおよびネットワーク ロケール</b>：最大 5 個のユーザおよびネットワーク ロケールがサポートされます。</p> <p><b>ユーザ定義のユーザ ロケールおよびネットワーク ロケール</b>：サポート対象電話機にユーザ定義のロケールを追加できます。</p>	<a href="#">ローカリゼーション サポートの設定</a>

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	保留音	<p>社内コールの保留音 (MOH) : 社内発信者 (同じ Cisco Unified CME システムの内線間のコールを発信したユーザ) が保留または転送されたときに、音楽が聞こえます。 <b>multicast moh</b> コマンドを使用して、電話機があるサブネットへのパケットのフローをイネーブルにする必要があります。</p> <p>アナログ音声ゲートウェイまたは WAN (リモート内線) を通じて接続されている内線では、社内コールで MOH は再生されません。</p> <p>ephone または ephone テンプレート コンフィギュレーション モードで <b>no multicast-moh</b> コマンドを使用して、電話機ごとにマルチキャスト MOH をディセーブルにする機能が導入されました。</p>	保留音の設定
	オーバーレイ ephone-dn	<p>オーバーレイ <b>ephone-dn</b> : ephone ボタンごとのオーバーレイ ephone-dn の最大数が 10 から 25 に拡大されました。特別な設定は不要です。</p> <p>オーバーレイ <b>ephone-dn</b> コール待機表示 : Cisco IP Phone 7940G、7941G、7941G-GE、7960G、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE で、コール待機が設定されているオーバーレイ ephone-dn に対して表示できる待機中のコールの数が 6 に拡張されました。</p> <p>オーバーレイ ephone-dn は、<b>button</b> コマンドと <b>c</b> キーワードを使用して、電話機で設定する必要があります。</p> <p>オーバーレイ ephone-dn コールの別のボタンへのオーバーフロー : 1 個または複数のボタンを、オーバーレイ ephone-dn がある Cisco Unified IP Phone と同じ電話機の別のボタンの拡張 (オーバーフロー) ボタンとして機能するように指定できます。アクティブ コールでビジー状態のオーバーレイ ボタンへのコールは、次に使用可能な拡張ボタンにロールオーバーされます。</p>	コール カバレッジ機能の設定
	電話機のサポート	<p><b>Cisco IP Communicator</b> は、カラー画面、キーパッド、機能ボタン、ソフトキーを備えたグラフィカルなディスプレイベースの IP Phone としてユーザのコンピュータ モニタに表示される、ソフトウェアベースのアプリケーションです。Cisco Unified CME は、Cisco IP Communicator 2.0 以降のバージョンをサポートしています。</p> <p>リモート テレワーカー電話機 : テレワーカーは、リモート電話機を WAN 経由で Cisco Unified CME に接続でき、直接サポートされます。</p>	基本的なコール発信のための電話機の設定
	呼出音	固有呼び出し音 : 社内、社外、機能コールを区別するように、内線の呼び出し音パターンを設定できます。	呼び出し音の設定
	セキュリティ	<b>Cisco Unified CME 電話認証</b> は、Cisco Unified CME と IP Phone の間でセキュアな Skinny Client Control Protocol (SCCP) シグナリングを提供するセキュリティ インフラストラクチャです。	セキュリティの設定

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	ソフトキー	<p>機能のブロック : [不在 (CfwdAll) ]、[会議 (Confrn) ]、[G ピック (GPickUp) ]、[パーク (Park) ]、[ピック (PickUp) ]、および [転送 (Trnsfer) ] の各ソフトキーに関連付けられている機能を、ephone ごとに個別にブロックできます。ソフトキーは削除されませんが、機能しなくなります。</p> <p>保留ステータスのソフトキー制御 : コールの保留中に使用できるソフトキーが変更されました。電話機でコールが保留中のとき、通常は [発信 (NewCall) ] および [復帰 (Resume) ] ソフトキーが使用できますが、テンプレートを電話機に適用して、これらのソフトキーを削除できます。</p>	ソフトキーのカスタマイズ
	スピードダイヤル	<p>スピードダイヤル番号の一括ロード : スピードダイヤル番号のリストが記述されたテキスト ファイルをシステム フラッシュまたは URL にロードできます。ファイルには、最大 10,000 の番号を記述でき、すべての ephone または特定の ephone に適用できます。</p>	スピードダイヤルの設定
	System-Level パラメータ	<p>自動電話機登録のディセーブル化 : 通常、Cisco Unified CME は、システムに接続した任意の ephone に ephone スロットを割り当てます。不正登録を防ぐには、<b>no auto-reg-ephone</b> コマンドを使用して、明示的に MAC アドレスが設定にリストされていない ephone が Cisco Unified CME に登録されないようにします。</p> <p>コンフィギュレーション ファイルおよび電話機ごとのコンフィギュレーション ファイルの外部ストレージ : 電話機のコンフィギュレーション ファイルを外部の TFTP サーバに格納して、Cisco Unified CME ルータの TFTP サーバ機能をオフロードできます。この追加記憶域は、電話機ごとに異なるユーザ ロケールおよびネットワーク ロケールを指定できる電話機ごとのコンフィギュレーション ファイルにも使用できます。</p> <p>冗長ルータへのフェールオーバー : プライマリ Cisco Unified CME ルータとセカンダリ Cisco Unified CME ルータでサイトを設定して、冗長 Cisco Unified CME 機能を提供できます。プライマリ ルータに障害が発生した場合、電話機はセカンダリ ルータに自動的に登録され、後でプライマリ ルータが復旧するとリホームされます。</p>	System-Level パラメータの設定

表 1 サポートされる Cisco Unified CME 機能 (続き)

バージョン	機能名	機能の説明	参照先
	テンプレート	<p><b>ephone テンプレートの最大数</b>：定義できる ephone テンプレートの最大数が 5 から 20 に拡張されました。特別な設定は不要です。</p> <p><b>ephone テンプレートに使用できる新しいコマンド</b>：ephone テンプレートは、以前、システム管理者が個別の ephone で、さまざまなコール ステータスで表示されるソフトキーを制御できるように導入されました。この役割は、1 台以上の電話機に割り当てることができる ephone パラメータ値のセットを単一のステップで定義できるように拡張されました。</p> <p><b>ephone-dn テンプレート</b>：ephone-dn テンプレートは、管理者が簡単に設定済みパラメータのセットを個別の ephone-dn に適用できるように導入されました。ephone-dn テンプレートは 15 まで定義できます。</p>	<a href="#">テンプレートの作成</a>
	ビデオ サポート	<p><b>SCCP ベースのエンドポイントのビデオ サポート</b>：この機能によって、ビデオ対応 SCCP エンドポイント間、および SCCP エンドポイントと H.323 エンドポイントの間で音声コールと共にビデオ ストリームを渡すことができるビデオ サポートが追加されました。ビデオ対応エンドポイントは、Cisco Unified CME ルータを経由してローカルに相互通信でき、ゲートウェイまたは H.323 ネットワークを経由してリモート H.323 エンドポイントと通信できます。</p>	<a href="#">ビデオ サポートの設定</a>
	ボイスメール	<p><b>回線選択可能な MWI</b>：これまで、電話機のメッセージ待機インジケータ (MWI) ランプは、電話機のプライマリ番号で待機しているメッセージがあることを示すだけでした。現在は、設定で任意の電話回線を指定できます。</p> <p><b>ボイスメール サーバのメールボックス選択ポリシー</b>：Cisco Unity Express、Cisco Unity、または PBX ボイスメールパイロット番号に送信される前に、Cisco Unified CME システム内で 1 回以上転送されたコールに使用するメールボックスを選択するポリシーを設定できます。</p> <p><b>SIP の Unsolicited MWI NOTIFY メッセージに使用するプレフィックス オプション</b>：複数の Cisco Unified CME サイトにメールボックスを提供する集中ボイスメッセージサーバで、異なるサイトの似た内線番号範囲を区別するためにサイト コードまたはプレフィックスを使用できます。</p> <p>集中メールボックス番号が正しく内線番号に変換されるように、サイトのプレフィックスを指定できます。</p>	<a href="#">ボイスメール統合</a>
	XML インターフェイス	<p><b>XML インターフェイスの機能拡張</b>：Cisco Unified CME から管理ソフトウェアにデータを渡す eXtensible Markup Language (XML) アプリケーション プログラム インターフェイス (API) が提供されました。</p> <p>Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンでは、すべての Cisco Unified CME 機能に XML サポートが提供されています。</p>	<a href="#">XML API の設定</a>

免責条項：モニタリング、録音、または聴取デバイスを使用して、電話での通話または他の音声アクティビティを盗聴、モニタリング、検索、または録音することは、同時に転送を伴うか否かにかかわらず、特定の状況において連邦、州および地域の条例のもとで違法となる場合があります。通話のモニタリングまたは録音を実行する前に、弁護士から法律上の助言を得ておくことを推奨します。一部の法律では、通話をモニタリングまたは録音する前に、通知音を鳴らすなどの通知方法を使用する、通話の全当事者に同意を求める等、何らかの形で電話で通話するすべての当事者に通知することが義務付けられています。これらの法律では、厳格な処罰が課せられることがあります。法律により通話の録音中に定期的に通知音を鳴らすことが求められる場合、Cisco Unity Express ボイスメール システムでは、「通知音」を有効にするオプションを利用できます。Cisco Unity Express のライブ録音機能を有効にする前に、該当するすべての管轄下の法律をご確認ください。本条項は法律上の助言ではなく、法律上の助言に代わるものでもありません。この Cisco Unity Express 製品に付随する一般的な免責条項に加え、さらにシスコでは民事および刑事上のありとあらゆる責務を放棄し、この Cisco Unity Express 製品の無認可または不法な使用に対して責務を負いません。この責務に対する免責条項には、連邦、州および地域（またはいずれか）の該当条例に違反した電話での通話の無許可または不法な録音およびモニタリングを含みますが、必ずしもこれに限定されるわけではありません。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco Unified Communications Manager Express System アドミニストレータ ガイド*  
© 2007-2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2007-2012, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.